

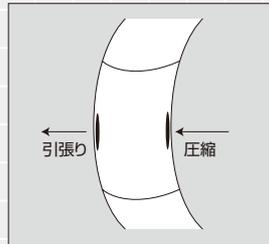
# パイプひずみ計取扱い説明書

## ●組立及び設置方法

- 1 スリーブ差込み部分（オス加工両方）に塩ビ管用接着剤を塗布し、速やかに赤基準線を合わせ接続して下さい。**  
(塩ビ管の接合には必ず、塩ビ管用接着剤を使用し、十分接着するまで保持して下さい。)
- 2 パイプひずみ計の深度を間違えないように接続していき、コードがたるまないよう一定間隔にビニールテープでパイプに固定し保護しながら、孔底まで挿入して下さい。**  
(コードの被覆がこすられたり、はげたりしますと、絶縁低下で測定不能になることがあります。)  
(深度が深い場合は相当な重量になります。ワイヤーロープにて吊りながら、慎重に埋設して下さい。)
- 3 赤ラインを地すべり移動方向(山側・谷側)に合わせます。**  
(測定器の動作環境、ユーザーの指導により異なります。ひずみ計の動作<下図>を参考にし、方向を決めて下さい。)
- 4 洗砂、グラウト等を用いてパイプと孔壁の間を隙間ができないよう埋め戻して下さい。**  
(現場に応じて、洗砂やグラウトなど適切な方法で埋め戻して下さい。)
- 5 埋設後地上部に出たコードはまとめてビニールテープ等で保護して下さい。また端子部分に水、泥がかからないよう保護箱に収納して下さい。**  
(草刈り機による切断や動物にかじられないよう適切な保護をして下さい。)

## ●動作について

パイプひずみ計に外力が作用して、パイプがたわむとパイプの一面が縮み(圧縮)、その反対面が伸び(引張り)のひずみが生じ、ひずみ値が変化します。



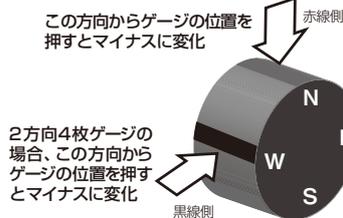
## ●当社のひずみ計は赤線側を押した(圧縮ひずみ)場合、マイナスに変化します。

赤線を山側に向けて、山側より圧縮ひずみがかかった場合

▶ -に変化

赤線を谷側に向けて、山側より圧縮ひずみがかかった場合

▶ +に変化



## ●本器取扱注意点

- ・測定器により動作環境が異なる場合があります。埋設前に導通チェック、動作環境をお確かめ下さい。
- ・直射日光のあたらない場所に保管して下さい。
- ・高温になる場所に放置しないで下さい。
- ・コードを強く引張ったり、踏みつけると、断線する事があります。
- ・落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。

**コード種類**

- 3芯平コード  
12×0.18×3芯  
平行コード  
赤 白 黒 2mm  
6mm
- 3芯丸コード  
12×0.18×3芯  
キャブタイヤコード  
赤 白 黒 4mm
- 6芯丸コード  
12×0.18×6芯  
キャブタイヤコード  
(0.5mp、2-4G用) 4.7mm

●ストレーナー加工  
Vp40 6φ10cm千鳥ピッチ  
Vp50 7φ10cm千鳥ピッチ

●コードは地上2m出るようにしております。(標準品)

●5重の防水加工を施してあります。  
ひずみ計中心部外径(参考)  
[ Vp40(3芯平コード)53mm ]  
[ Vp40(6芯丸コード)56mm ]

●細かい砂の流入を防ぐフィルター巻加工(別料金)

**仕様**

使用パイプ	硬質塩化ビニル管 JIS K6741 規格品
使用ゲージ	(株)共和電業社製 (KFGS-5-120-C1 相当品)
ゲージ抵抗値	120.0±0.7Ω
ゲージファクター	2.10±1%
調整数値	±700×10 <sup>-6</sup> ひずみ
測定範囲	±25,000×10 <sup>-6</sup> ひずみ (測定器により、測定可能範囲が異なります)
温度保証範囲	-20~+60℃
重量	仕様による (参考) 1m(1本)あたり VP40 ひずみ計 0.9kg 3 平コード 0.02kg 3 丸コード 0.03kg 6 丸コード 0.04kg

寸法は TD-401 (VP40-1方向2枚ゲージ)

パイプひずみ計・各種計測器

株式会社 東京電機

〒386-0407 長野県上田市長瀬平戸工業団地1107-3  
TEL (0268) 42-6052 FAX (0268) 42-6535  
URL ● <http://www.tokyodenki.com>